

\*\*\*\* 《もくじ》 \*\*\*\*

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
  - ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー（6月22日）
  - ☆平成29年度の東海生研・行事予定
  - ☆東海生研ホームページのリニューアルについて
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
  - ☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会3月研究会（3月23日）
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
  - ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
  - ☆平成29年度委託プロジェクト研究（農林水産省）
  - ☆平成29年度水産防疫対策委託事業（農林水産省：水産庁）
  - ☆平成29年度官民連携新技術研究開発事業（農林水産省：農村振興局）
  - ☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度一般タイプ（通常募集）（JST）
  - ☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度未来創造ベンチャータイプ（通常募集）（JST）
  - ☆平成29年度マッチングプランナープログラム（名称等変更されます）（JST）
  - ☆非可食性植物由来化学品製造プロセス技術開発（研究開発テーマの追加）（NEDO）
  - ☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3：NexTEP-Aタイプ（平成28年度第3回）（JST）
  - ☆平成29年度大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト支援型（JST）
  - ☆平成29年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業（NEDO）
  - ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（総務省）
  - ☆民間の競争的研究資金を16件掲載
- 5. 新技術情報 3件掲載

\*\*\*\*\*

◆1◆ 「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆平成29年度NPO法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー(予定)

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会通常総会と第1回セミナーを下記の通り予定しております。詳しくは、会員の方には、個別にご連絡・案内するとともに、次号メールマガジン等でもお知らせ致します。

【開催日時】平成29年6月22日(木) 14:30~15:30 総会  
15:45~16:45 第1回セミナー

【開催場所】ウインクあいち 13階 1302号室

【第1回セミナー】

講演: 「地域農業の将来を考える視点」

愛知県農業振興基金理事長(NPO法人東海生研副理事長) 可知祐一郎氏

【情報交流会】ウインクあいち13階 1306号室 会費制:

.....

☆平成29年度の東海生研・行事予定

○第2回セミナー: 10月上旬

○アグリビジネス創出フェア2017 in 東海: 11月7日(火)、8日(水)  
名古屋大学野依記念学術交流館

○第3回セミナー: 11月20~24日(予定)

○競争的資金説明会: 1月中旬

○情報誌「バイオテック東海」: 12月発行予定

.....

☆東海生研ホームページのリニューアルについて

東海生研の旧ホームページが暫く見られない状態でしたが、3月からデザイン等を一新してオープンしましたので、お知らせ致します。主な変更点は、①トップページの下部に、掲載項目のリストを設けるとともに、サイトマップから記事の詳細リストをご覧いただけます。②新たに、東海生研主催のセミナー内容に関する「セミナー等の資料」の掲載、農林水産・食品・地域に関する「読み物」の掲載、会員企業の「製品紹介」等を設けました。③会員コーナーには、情報誌「バイオテック東海」の第80号の目次を掲載しましたので、ご覧ください。

なお、ブラウザによっては、プルダウンができない場合がございます(例えば、「お知らせ」から下部の項目に移れない)。この場合は、Firefox、Microsoft Edgeをお使い下さい。また、会員が「お問い合わせ」⇒「会員ログイン」⇒「会員情報誌」として、「会員情報誌」を開く場合には、「会員ログイン」場面で、IDとパスワード(分からない会員は、東海生研(末尾のE-mail宛て)にお問い合わせ下さい)を入力し、改めて「お問い合わせ」から「会員ログイン」、「会員情報誌」としますと閲覧できます。新ホームページは、新システムを採用し全面リニューアルしましたので、まだ、不具合が見つかる場合がございますので、ご連絡いただければ幸いです。なお、スマートフォンでは表示が不規則となる場合がございますので、できるだけパソコンでの閲覧をお願い致します。

新ホームページの URL : <http://www.biotech-tokai.jp>

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 3月研究会

【開催日時】平成29年3月23日(木) 午後2時から5時

【開催場所】名古屋市市民活動推進センター 研修室

名古屋市中区栄三丁目18番1号

ナディアパーク・国際デザインセンタービル 6階 (052-228-8039)

【講師】

14時～15時20分

・「いよいよ始まるネガワット取引への期待と課題」

株式会社日本環境取引機構 代表取締役 向井征二氏

(注) 電力買い取り制度におけるネガワットとは (エコメガネの解説引用)

<http://blog.eco-megane.jp/negawatt/>

15時30分～17時

・「見えない人材育成の壁と戦う」

株式会社ナゴヤキャスル 総務部人材育成課長 杉浦敏代氏

【開催案内】チラシ

<http://www.biotech-tokai.jp/biotech/wp-content/uploads/2017/03/290323CRN.pdf>

【会費】会員 無料 会員以外 1,000円 (学生 500円)

【交流会】講師を囲んでの交流会を予定しています。(自由参加)

会費当日 3,000円 場所:新栄 うお浜 (会場へはタクシー乗合せ)

【お申込み】下記事項をご記入のうえ、下記メール宛てに件名を添えてお送り下さい。

CRN事務局行き E-mail: [gt-keisoku@re.commufa.jp](mailto:gt-keisoku@re.commufa.jp)

「3月23日(木)のCRN [研究会例会]」

研究会 出席 又は 欠席

懇親会 出席 又は 欠席

所属: 氏名:

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下

記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成 28 年度・29 年度競争的研究資金等について

☆平成 29 年度委託プロジェクト研究

(農林水産省)

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/170206.html>

分野等：5つの研究事項についての公募が行われています。

- 1.人工知能未来農業創造プロジェクト
- 2.蚕業革命による新産業創出プロジェクト
- 3.薬剤耐性問題に対応した家畜疾病防除技術の開発
- 4.農業分野における気候変動緩和技術の開発
- 5.農業における昆虫等の積極的利活用技術の開発

公募期間：平成 29 年 2 月 6 日（月曜日）～3 月 28 日（火）17 時必着

☆平成 29 年度水産防疫対策委託事業

(農林水産省：水産庁)

(水産動物疾病の診断・予防・まん延防止に係る技術開発等)

[http://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu\\_kaihatu/170220\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/170220_1.html)

分野等：

1. 水産動物疾病等緊急対策
2. 水産防疫資材の開発促進のための基礎的な知見の収集
3. 水産動物疾病検査法開発
4. 養殖衛生管理に関する調査・研究

公募期間：平成 29 年 2 月 20 日～3 月 23 日

☆「平成 29 年度官民連携新技術研究開発事業」

(農林水産省：農村振興局)

[http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/170207\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/170207_1.html)

分野等：

1. 農地の大区画化・汎用化に資する技術
2. 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
3. 土地改良施設の耐震強化等に資する技術
4. 小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
5. 農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：平成 29 年 2 月 7 日～3 月 30 日

☆産学共同実用化開発事業 (NexTEP) 平成 28 年度一般タイプ (通常募集)

(JST)

[http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu\\_ippan01.html](http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html)

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴

う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....  
☆産学共同実用化開発事業 (NexTEP) 平成28年度未来創造ベンチャータイプ  
(通常募集) (JST)

[http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu\\_mirai01.html](http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html)

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....  
☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステップ3 ; NexTEP-A タイプ  
(平成28年度第3回) (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年11月30日～平成29年3月31日

.....  
☆平成29年度 大学発新産業創出プログラム (START) プロジェクト支援型 (JST)

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/h29/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざした研究開発プロジェクトを JST が支援する。

公募期間：平成29年1月17日～3月15日

(第1次申請 (平成29年度第1サイクル))

.....  
☆平成29年度マッチングプランナープログラム (名称等が変更されます) (JST)

マッチングプランナープログラムは、平成29年度から「地域産学バリュープログラム」と名称を変更し、3月下旬以降、新規課題の募集が開始される予定です。詳細につきましては、公募開始後、JST のホームページに掲載される予定の公募要領等をご覧ください。

【公募名称】 地域産学バリュープログラム

【公募開始時期】 2017年3月下旬以降 (予定)

【研究開発費】 基準額300万円 (予定)

金額についての詳細は現在検討中とのことです。

【概要説明】 <http://www.jst.go.jp/mp/>

.....  
☆平成29年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業  
(旧：新エネルギーベンチャー技術革新事業) (NEDO)

[http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100139.html](http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100139.html)

分野等：再生可能エネルギー分野の重要性に着目し、中小企業等（ベンチャーを含む）が保有している潜在的技術シーズを基にした技術開発を公募により実施する技術分野は、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用及びその他の未利用エネルギー分野並びに再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）。

公募期間：平成29年2月6日～3月14日

.....  
☆非可食性植物由来化学品製造プロセス技術開発（研究開発テーマの追加）（NEDO）

[http://www.nedo.go.jp/koubo/EF2\\_100120.html](http://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100120.html)

分野等：

1. CNF（セルロースナノファイバー）安全性評価手法の開発
2. 木質系バイオマスの効果的利用に向けた特性評価

公募期間：平成29年2月24日～3月27日

.....  
☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000167.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html)

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1)いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2)G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3)以心伝心ICTサービス基盤
- (4)フレンドリーICTサービス技術
- (5)社会インフラ維持管理サービス技術
- (6)レジリエント向上ICTサービス技術
- (7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合を図ることにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....  
（（民間の競争的研究資金））

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkoukai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

.....  
☆一般財団法人東和食品研究振興会：「平成29年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：平成28年12月9日～平成29年3月31日

.....  
☆特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 平成29年度募集」

<http://www.yeast.umin.jp/h29jigami-fund.html>

分野等：酵母、糖鎖に関する研究

公募締切日：平成29年3月31日

.....  
☆公益財団法人日本生命財団：「平成29年度ニッセイ財団 環境問題研究助成」

[http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02\\_gaiyo.html](http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02_gaiyo.html)

分野等：人間活動と環境保全との調和に関する研究

公募期間：平成29年2月1日～4月3日

.....  
☆公益財団法人武田科学振興財団：「2017年度生命科学研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html>

分野等：健康増進に寄与する生命科学分野の進歩、発展に貢献すると考えられる研究

公募期間：平成29年1月6日～4月4日

.....  
☆公益財団法人武田科学振興財団：「2017年度ライフサイエンス研究奨励」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html>

分野等：健康増進に寄与する生命科学分野の進歩、発展に貢献すると考えられる研究

公募期間：平成29年1月6日～4月4日

.....  
☆一般財団法人水源地環境センター：「平成29年度 WEC 応用生態研究助成」

<http://www.wec.or.jp/support/season/index.html>

分野等：

1. ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究
2. ダム貯水池や下流河川の生態系に係わる土砂動態に関する研究

公募期間：平成29年2月9日～4月5日

☆公益財団法人戸部真紀財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.tobe-maki.or.jp/grant/>

分野等：化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学

公募期間：平成29年4月19日

☆公益財団法人新技術開発財団：「第99回（平成29年度第1次）新技術開発助成」

[http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD\\_top\\_now\\_newtech](http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD_top_now_newtech)

分野等：基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的にした開発試作

公募期間：平成29年4月1日～4月20日

☆公益財団法人ひと・健康・未来研究財団：「2017年度研究助成」

<http://www.jnhf.or.jp/jose/g-01/>

分野等：当財団の目的である「ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康をめざした研究を振興し、もって国民の健康増進と生活の質の向上に寄与する」ことをめざす研究（分野は食品、環境、医学、福祉）

公募期間：平成29年4月1日～4月30日

☆公益信託富士フィルム・グリーンファンド：「2017年度 FGF 助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/1.htm>

分野等：身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究 等

公募締切日：平成29年5月8日

☆公益信託ミキモト海洋生態研究助成基金：「平成29年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/2.htm>

分野等：

1. 潮間帯から浅海にわたる海域に生息する生物に関する調査研究
2. 潮間帯から浅海にわたる海域に生息する生物の生息環境に関する調査研究
3. 潮間帯から浅海にわたる海域における生態の保全のあり方に関する調査研究

公募締切日：平成29年5月8日



☆公益信託乾太助記念動物科学研究助成基金：「平成29年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/5.htm>

分野等：

1. 哺乳類の保護・増殖に関する研究
2. 鳥類の保護・増殖に関する研究

公募締切日：平成29年5月8日

.....

☆公益信託四方（しかた）記念地球環境保全研究助成基金：「平成29年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/3.htm>

分野等：下記のいずれかをテーマとした、海外を場とした現地での調査をともなう  
独立した研究

1. 熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題に関する調査・研究
2. 絶滅のおそれのある生物等の生態及びその保護・回復に関する調査・研究
3. 人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究

公募締切日：平成29年5月8日

.....

☆公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団：「国内研究助成2017年度募集」

[http://www.kwef.or.jp/josei/josei\\_koku.html](http://www.kwef.or.jp/josei/josei_koku.html)

分野等：

1. 自然科学・技術（1）：水処理に関する理論、技術、分析などの研究
2. 自然科学・技術（2）：水域生態系保全に関する研究
3. 人文・社会科学：水に関する文化、教育、歴史、政策、制度などの研究
4. 特別テーマ：「水を究める」研究
5. 萌芽的研究：自然科学・技術の分野、人文・社会科学の分野で特に新しい切り口や手法に基づく水に関する研究

公募期間：平成29年4月1日～5月11日

.....

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：平成29年度研究助成

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：平成29年1月5日～8月31日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

○花き関係：無病球根の効率的増殖を核とした有望球根切り花の生産流通技術開発

宮崎県総合農業試験場を代表機関とし、他の7機関が研究グループとなって実施した農食研究推進事業（実用技術開発ステージ）で、標記課題の研究成果が農林水産省発行の「研究成果2016」に掲載されました。本研究では、「海外でも高品質で評価され、生産が急増しているランタンキュラスとダリアは、球根の増殖率が低いために急速な種苗増殖が困難であり、ウイルス等の病害の発生、切り花の日持ちが比較的短いという共通の課題があります。本研究課題では、球根の急速な増殖技術、培養ビン内での球根化による保存技術、無病球根の安定供給、低コスト化、切り花を出荷する段階での日持ち処理（前処理）剤と生け花店等で行う日持ち処理（後処理）剤を組み合わせ、それぞれの品目で7日以上のお観賞期間を確保する品質保持技術が開発されました。

・農食研究推進事業における研究概要は下記の URL でご覧いただけます。

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/gaiyou/pdf/25075c.pdf>

○果樹関係：モモ、スモモ、サクラ等を加害する外来種クビアカツヤカミキリの分布拡大

3月7日のテレビ番組で、各地の桜の名所でクビアカツヤカミキリが発生し、桜の木を何本も伐採したり、徳島県のモモ栽培農家では多くの樹園のモモの木が被害を受ける事態となっているとの報道がありました。この害虫は、2012年に愛知県で初めて発生が確認された外来種で、原産地は中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部となっています。成虫は胸部が赤く他の部分はツヤのある黒色、体長は2.5～4cmで識別が容易です。幼虫が幹の内部を食害し穴を空けるので樹木が弱り枯死します。中国では、モモ、スモモの重要害虫とされています。モモ等における在来カミキリムシに対しては、薬剤防除も含めて防除法が確立されていますので、従来のカミキリムシ防除剤等を用いた総合防除法を実施し、蔓延を防止する必要があります。なお、本害虫は産卵数が非常に多く、今後、難防除害虫となることが予想されます。

・平成25年度病害虫発生予察特殊報（愛知県：平成25年6月18日付け）

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2013/tokusyuhou/tokusyuhou2402.pdf>

・滋賀県野洲市 HP（クビアカツヤカミキリ（*Aromia bumgii*）に関する注意喚起及び情報提供）：<http://www.city.yasu.lg.jp/kurashi/gomi/oshirase/1461200784066.html>

○食品関係：酵素工学を活用した糖質資源高度利用プラットフォーム構築

農研機構食品総合研究所（現在は食品研究部門）を代表機関とし、他の4機関が研究グループとなって実施した農食研究推進事業（シーズ創出ステージ）で、標記課題の研究成果が農林水産省発行の「研究成果2016」に掲載されました。本研究では、「機能が知られているオリゴ糖の大部分は実用的な製造法がなく、このため、天然資源から得られる安価な糖質などの化合物を原料とした酵素反応により機能性オリゴ糖を高効率で調整する汎用的な技術の開発が行われました。このことにより、新たな機能性食品素材の提供や、機能性オリゴ糖が医薬品などの原料として活用されることにより新たな医薬品が提供が可能となりました。

・農食研究推進事業における研究概要は下記の URL でご覧いただけます。

編集後記

3月の年度末となり、会員等の皆様におかれましては何かとお忙しいことと存じます。平成28年度には、様々な技術革新のニュースがありましたが、筆者は、AIによる自動車の自動運転や、人工知能による囲碁ソフトが世界トップクラスの棋士を圧倒したことなど、人工知能の目覚ましい発達に驚きを禁じ得ません。チェス、将棋では既に人工知能ソフトが名人に勝利していましたが、囲碁は19×19の譜面に自由に石を打て、自由度が高いので、まだまだプロ棋士には勝てないと思っていましたが、予想がはずれました。今回の勝利が示したAIによるディープラーニングの強みは、この技術が極めて汎用的に使えるという点が特徴であり、農林水産業にも近い将来必ず導入され、栽培の最適化等に応用されるものと考えられます。このためには、様々なセンサーによる環境、生育、収量、作業等のビッグデータの収集、研究成果の集積も必要であろうと思います。

ところで、最近読んだ本に吉川洋著、「人口と日本経済」（中公新書、2016年8月発刊）があります。著者は、東京大学名誉教授でマクロ経済学の権威です。本書を読むと、人口と経済との関係について、「人口論」等を著したマルサス、「雇用・利子および貨幣の一般理論」等を著したケインズ、人口が少ないスウェーデンの経済学者であるヴィクセル、ミュルダールなどの主張が簡潔に述べられていて、名だたる経済学者達の人口増減に対する見解の歴史の変遷について分かりやすく述べられており勉強になります。本書の主張は、戦後の日本経済を概観しただけでも、経済成長と人口増加との関係性は必ずしパラレルでなく、今後継続する人口減少がそのまま経済縮小に繋がるのではなく、これが圧迫要因になるとしても、新たな製品やサービス分野でのイノベーションが継続的に起こっていけば、新たな需要を創出できるので、人口減少ペシミズムに陥る必要はないと述べています。例えば、世界に先駆ける我が国における少子高齢化に対応する技術、製品、サービス分野でイノベーションを起こすことによって、需要を喚起するとともに、大きな世界的市場にも繋げていけるのではないのでしょうか（筆者）。著者は、最後に、企業は内部保留を積み上げるだけでなく、新たなチャレンジ・投資をしていくことで、ニュープロダクトとサービスのイノベーターとなって、人口減社会において豊かさを作り上げていく必要があると述べています。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-npo2\*y4.dion.ne.jp \*を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>